

「働く」ということ

広島県・広島市立基町高等学校 1年 風早 由望

私達はひとつの「社会」の中で生きている。そして、その社会の中で多くの人に支えられて生活しているのである。しかし、支えられているということに気がついていない、また「社会」というものをとても狭い範囲でしか見ることができていない、という人も多いのではないだろうか。その人達は、つまり、「社会の中で生きていくということ」を理解できていないのではないかと思うのである。そしてその、「社会の中で生きていく」というのは、「働く」ということに結びついている。

なぜ人々は働いているのだろうか。家族を養うため、お金を儲けるため、自分のやりたいことだから……と働く理由というのは人それぞれだろう。今の世の中では、働いていなければ生きていくことは難しい、というのが事実である。人は人生の大半を働いて過ごす。だから、働くということは、その人の人生そのものを表しているようにも思う。働いて社会に貢献すること。今の世の中では、そうすることで、人生というものが形づくられていると思う。また、社会へ与えるものばかりでなく、その人自身も働くことを生きがいとして、様々なことを得ているのではないだろうか。

母に、離れて暮らす祖父が定年となった時の話を聞いたことがある。定年となり最後の出勤の日。祖父から「今日が最後の出勤だよ」とわざわざ電話が掛かったのだという。長い間働いてきて、感慨深いものがあったのだら

う、と母は言っていた。小学校では6年間、中学校・高校では各3年間、大学では4年間で卒業である。それに比べて、働いてきた期間というのは何十年と長いものである。その締めくくりとして、辿り着いた「定年」というのは、祖父にとって様々な思いがあったのだろう。それだけ「働く」というのは人生の大きな部分を占めている。それは、長い間仕事に励み、最後までやり遂げた人だけが味わえる感動だと思う。

では、なぜ働かない人がいるのだろうか。今の社会にはニートやフリーターといった、定職に就かない人々が溢れている。働きたくても、仕事が見つからないという人もいるだろう。特にやりたいことがなく、働くということに興味を持たない人もいるのだと思う。働くというのはやりがいもあるが、もちろん様々な苦勞がある。その苦勞を考えると、定職に就かない人々がいるのも分かるような気がする。しかし、社会の中で生きていくためには働くことは必要であり、その中で学ばなければいけないこともたくさんある。

社会に出て働くということは、人として必ずやらなければならないことである。それを、嫌々やるか、楽しんでやるか、やらないかはその人次第である。考え方によってはニートやフリーターもその人の生き方なのだと思う。しかし、せっかくやるのであれば、楽しんでやりたいし、充実した毎日を送りたいとも思う。そのために

は、今のうちからしっかりと働くための準備をしていかなければならない。その準備がしっかりできるかどうか、が大切なのだと思う。

自分に向けた仕事が見つかるかどうか、というのも重要になってくるのではないだろうか。自分の長所を生かせる仕事、自分がやりたい仕事というのは、人によってはそう簡単には見つからないものだろう。だからこそ、子どものうちから夢を持ちなさい、と言われるのかもしれない。常に将来を見据えていることが、求められているのである。

幼い子どもにとっては遊ぶこと、学生にとっては勉強すること、そして社会人にとっては働くことが「生きること」なのではないだろうか。私は、今様々なことを勉強しているが、これは将来大学に進学し、自分にできることを生かして働きたいと思うからである。私だけでなく、多くの人がそうだと思う。幼い頃でも意識はしていなくても、遊びを通して将来につながる様々なものを身につけているといえる。そう考えると、私達はずっと未来に向けて生きてきた訳である。そして、社会人

として社会に出て働くことも、未来を生きるために人としてしなければならないことなのではないだろうか。すると、子どもの頃から将来に向けて、コツコツと積み上げてきた結果が、ニートやフリーターといった中途半端な形になってしまうのはとても残念なことだと思えてくる。

今まで述べてきたことから考えてみると、「働く」というのは、とても魅力あることなのである。様々な経験を通して、人生を豊かにするためのものなのである。それにもかかわらず、ニートやフリーターといった定職に就かない人々が大勢いるのはなぜか。それは、働くということの魅力に気がついていないからだ。だから、私達若者には、意欲的に社会に参加していく姿勢を持つことが求められるのである。自分から働くことの魅力を見出していかなければいけないのである。

社会に出て働くこと。それは、社会の中で生きる一員としての役割を果たすこと、そして、自らの人生を豊かで充実したものにするために必要なことである。

